

犯罪心理鑑定研修

近年、裁判員裁判の導入により見直されつつある情状鑑定(あるいは犯罪心理鑑定)は、臨床心理士をはじめ、他の専門職による役割が注目されています。少年事件においても、2022年の少年法改正により特定少年の実名報道が可能となり、特定少年事件や、逆送致事件が増えています。それに伴い、当研究所でも、依頼の多くを占めていた“動機が不可解でわかりにくい事件”に加え、少年事件の犯罪心理鑑定の依頼が増えました。

しかし、こうした少年事件を含む重大な事件などにおいて犯罪心理鑑定をできる心理士はまだ多くなく、犯罪心理鑑定における基本的な知識をはじめ、面接の進め方、心理検査の組み方(やり方)、鑑定書の書き方、法廷での証言に必要なパワーポイントの作成の仕方、尋問準備などを、学ぶ機会もなかなかありません。

本研修では、こうした社会のニーズに応えられる犯罪心理鑑定が出来る臨床心理士(公認心理師)を養成し、司法領域において心理士が専門家として活躍できる場を広げていければと考えています。

<p>【対象者】</p> <p>臨床心理士 公認心理師 大学院生 (養成課程の学生に限る)</p>	<p>初級講座 Beginner course</p> <p>オンライン 5時間 10000円 (学生8000円)</p>	<p>【講座内容】</p> <ul style="list-style-type: none">①犯罪心理鑑定について理解する②刑事裁判・少年審判についての基礎知識を習得する③犯罪心理鑑定書の作成から法定での証言までの流れを理解する④鑑定の受諾から面接における臨床活動⑤模擬事例を用いてアセスメント力を養う⑥弁護士との協働に必要なコミュニケーション力を養う
<p>【対象者】</p> <p>犯罪心理鑑定研修初級講座を受講した臨床心理士あるいは公認心理師の資格を有する者</p>	<p>中級講座 Intermediate course</p> <p>対面 5～10時間 30000円</p>	<p>【講座内容】</p> <ul style="list-style-type: none">①鑑定事項の整理 I, II②犯罪心理鑑定書の書き方③裁判員裁判の実際－模擬裁判④裁判員裁判における証言準備 I, II⑤裁判員裁判におけるプレゼンテーション I, II
<p>【対象者】</p> <p>犯罪心理鑑定研修中級講座を受講した者</p>	<p>上級講座 Advanced course</p> <p>中級講座受講者のみ案内</p>	<p>【講座内容】</p> <p>司法心理研究所に仮所属し、SVの指導のもと実際に鑑定を行います。</p>

申し込み方法等は裏面をご覧ください。

犯罪心理鑑定研修

初級

- 日時：2024年4月7日(日)
13:00～18:00
- 対象：臨床心理士・公認心理師
養成課程の大学院生
- 費用：10000円
(大学院生は8000円)
- オンラインにつき定員なし



申込方法

左上2次元コードよりお申込みください。(3月31日締め切り)
申込みが完了しましたら「振込先口座」を記載したメールをお送りいたします。振込が確認できましたら、4月1日(月)以降に、zoomのURLをお送りいたします。
※臨床心理士資格更新ポイント(2ポイント)を申請予定です。

講師

一般社団法人司法心理研究所 代表理事 二見真美
一般社団法人司法心理研究所 理事 桜谷真美

講座内容

- 1 犯罪心理鑑定について理解する
- 2 刑事裁判・少年審判についての基礎知識を習得する
- 3 犯罪心理鑑定書の作成から法定証言までの流れを理解する
- 4 鑑定の受諾から面接における臨床活動
- 5 模擬事例を用いてアセスメント力を養う
- 6 弁護士との協働に必要なコミュニケーション力を養う